

第3次 総社市総合計画の構成 (案)



総社市総合計画(第3次総合計画)の構成について

基本構想(R8～R17)

将来都市像

目指すそうじゃの姿 「挑戦 岡山の新都心 総社」
～全国屈指の福祉文化先駆都市～

基本理念

日本一市民にやさしいまち総社を創る

基本姿勢

4つのシンカ

基本目標

5つの基本目標を設定

検証・評価体制

EBPMを取り入れながらアジャイル型PDCAサイクルの確立

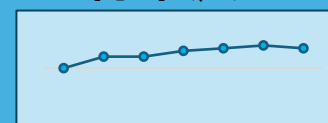
人口ビジョン

小学校区、年代別
(子供や若い女性)
にきめ細かく分析

人口分析



将来展望



人口増加を目指す

土地利用方針

都市計画マスタープラン（本年度改定）と連携し反映。

市街化区域の拡大

前期基本計画(R8～R12)

重点推進施策＝総合戦略

⇒ 前期基本計画のうち、**重点推進施策を総合戦略**とする。

実施計画

(予算編成の基礎)

・重点推進施策を別枠で記載し、予算を優先的に配分

基本構想案の概略

将来都市像

「挑戦 岡山の新都心 総社」
～全国屈指の福祉文化先駆都市～

「人の心の豊かさ」が第一の「市民による福祉文化」が根付くまちへ

基本理念

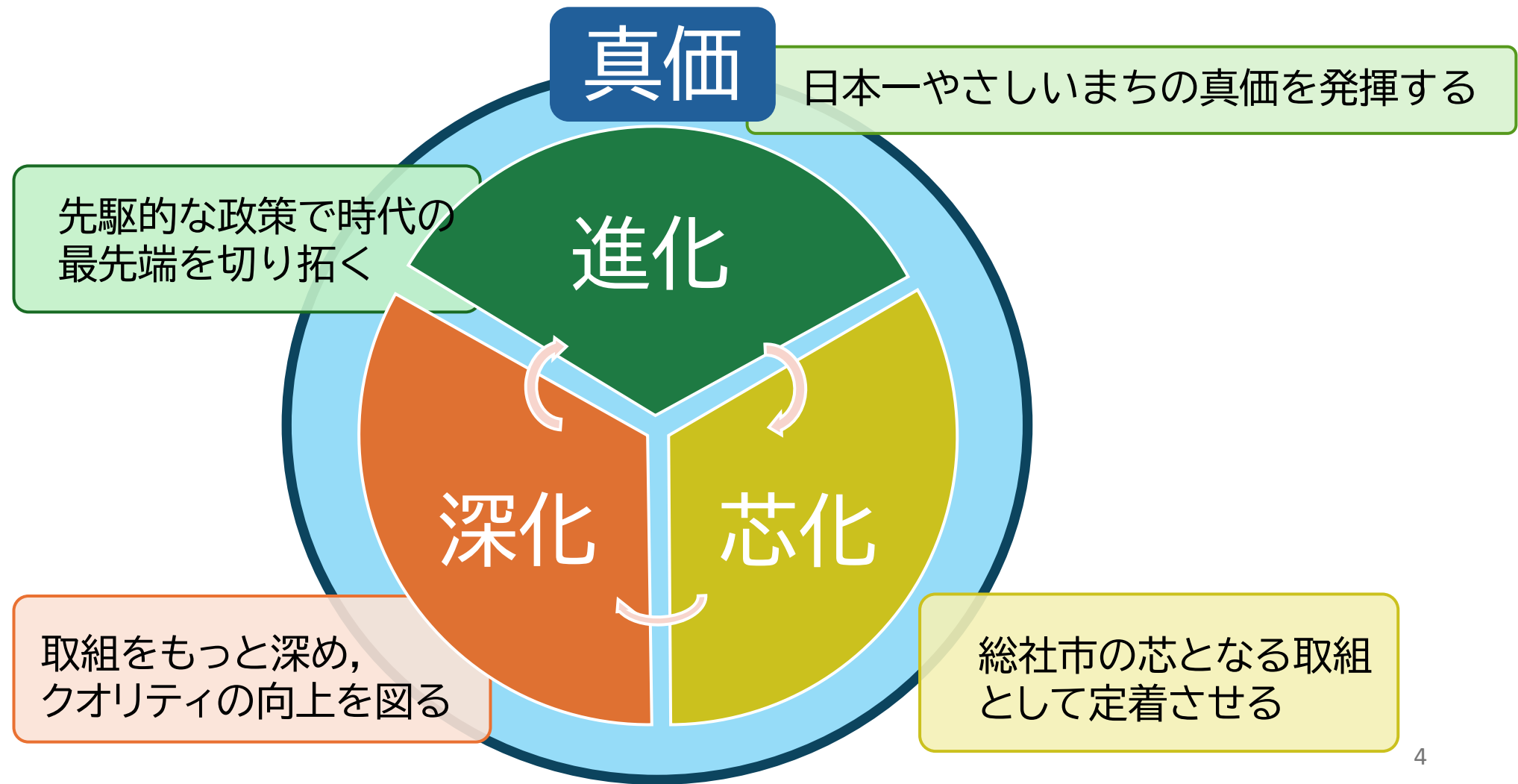
日本一市民にやさしいまち総社を創る

困っている時に相談しやすく，地域の中で助けてもらえる環境が身近にあるまち

基本姿勢について

計画の施策推進体制の4つの「シンカ」

10年間の計画推進により、地方の抱える停滞感や閉塞感を打破し、地域や市民に幸せや希望を感じ、夢を抱いてもらえるよう、政策の3つの「シンカ」を追求することで、日本一やさしいまちの真価の発揮を目指します。



基本計画の体系（案）について

基本目標	主な内容
1. 住む人にやさしいまちを創る	・ こども・若者支援，子育て支援 ・ 保健，医療，健康増進 ・ 障がい者福祉，ダイバーシティ ・ 地域共生社会の実現 ・ 高齢者福祉 ・ 都市基盤整備，公共交通，移住定住，空き家対策 ・ 防災・減災，消防・救急，治山治水 ・ 防犯・交通安全・消費者保護 ・ 自然保護，地球温暖化対策
2. 働く人にやさしいまちを創る	・ 就労支援，働き方改革 ・ 企業誘致，創業支援，事業所連携 ・ 農業施策
3. 学ぶ人にやさしいまちを創る	・ 学校教育・地域教育 ・ 生涯学習・生涯スポーツ ・ 文化振興
4. 集う人にやさしいまちを創る	・ 地域づくり，市民参画，ボランティア活動 ・ 大学連携，企業連携，広域連携 ・ 日本一やさしい市役所の実現
5. みんながワクワクするまちを創る	・ 観光，地域交流，関係人口拡大，魅力発信

基本計画の体系（案）について

5つの基本目標の位置づけ

住む人にやさしいまちを創る

働く人に
やさしいまちを創る

学ぶ人に
やさしいまちを創る

集う人に
やさしいまちを創る



（かける）

みんながワクワクする
まちを創る

基本計画の概要

基本目標1 住む人にやさしいまちを創る

(1)一人ひとりにやさしい人生のサポート

一人ひとりの“そうじゃっ子”を主人公と捉え、子育て王国そうじゃを推進します。

また、市民の一生をサポートするための医療・福祉を過不足なく提供できる体制を整えます。

さらに、地域共生社会の構築を目指し、分野間の連携や市民の参加による地域づくりを推進します。

1) こども・若者が主人公になれるまち

- こども・若者の意見が反映されるまち
- 全てのこども・若者の健やかな成長
- こども・若者の居場所づくり
- こども虐待ゼロのまちの実現
- ヤングケアラーへの対応
- 結婚を応援

2) 子育て王国そうじゃの推進

- 妊娠・出産の希望をかなえるための支援
- 妊娠期から子育て期を支援
- 保育が必要なこどもが保育園等を利用できる環境整備
- 放課後児童クラブ等の整備
- 支援が必要な家庭とこどもを応援
- 乳幼児・就学期の障がい児支援の充実
- 子育て家庭のワーク・ライフ・バランスの推進

3) 健康づくりと医療支援の充実

- 元気でいきいき！健康寿命を延ばす
- 「心のケア」体制の充実
- 医療・福祉体制の整備



4) 障がい者にやさしいまち

- 障がい者支援の充実
- 障がい者の自立を支援し、生活の質を向上する

5) 多様な人がともに生きるまち

- 多文化共生の推進
- 多様な性を認める社会の実現
- 人権教育
- 互いを思いやり活躍する

6) つながりが実感できるまち

- 孤独・孤立への寄り添い
- ひきこもり支援
- 生活困窮支援

7) いつまでも自分らしく暮らせるまち

- 地域力を活かした高齢者のケア・見守りの強化
- 認知症高齢者等を支える体制強化
- 切れ目のない介護と医療体制をつくる



基本計画の概要

(2) 住みたくなる・住み続けたくなる やさしいまちをつくる

市民が快適な生活を送り、住まいの場として選ばれるような生活インフラを整備し、定住促進を図ります。

1) もっと生活を便利に

- 国道180号総社バイパス沿線を中心としたまちづくり
- 市街化区域の再活性化
- 地域公共交通の利便性向上
- 南北道を始めとした道路等の整備
- 生活に直結する道路の改善
- 上水道・下水道の整備
- 主体的な土地利用の促進

2) 住みたい人に選ばれるまち

- 移住・定住を促進
- 空き家対策の推進



(3) 安心して住み続けられる環境づくり

過去の災害の経験と対策を後世に引き継ぎ、安全第一のまちづくりを進めます。また、地球環境に配慮した市民生活を支援します。

1) 安全・安心を実感できるまち

- 災害に強い社会基盤の整備
- 災害をしなやかに受け止める体制の整備
- 治山・治水・砂防事業の推進
- 地域インフラ整備の推進
- 防犯・交通安全・消費者保護

2) 豊かな暮らしと環境保全の両立

- 豊かな自然を大切にする
- 地球温暖化対策の推進
- にぎわいのある公園づくり



基本計画の概要

基本目標2 働く人にやさしいまちを創る

「総社市で働きたい。」そんなみなさんの思いに応えるため、多様な人材が活躍できる雇用の創出に取り組みます。地域の活性化を促進するため、企業誘致を推進するほか、起業支援や事業承継支援を充実し、多様な分野による経済活動の発展を目指します。そして、総社の農業を守ります。

(1) 多様な人材が活躍できる雇用の創出

- 働きたい人を支援する
- 若者の市内就職の推進
- 障がい者の自立を支援し、生活の質を向上する
- 高齢者が生涯活躍できる場を創出する
- ワーク・ライフ・バランスの推進

(2) 地域経済の活性化

- 拠点整備を支援する
- 地域イノベーションへの取組
- 市内企業・事業所との連携・支援

(3) そうじゃの農業を守る

- 地食事業を核とした儲かる農業の推進
- 持続可能な農業の推進



基本計画の概要

基本目標3 学ぶ人にやさしいまちを創る

総社市では、そうじゃ教育大綱に掲げる「総社を愛す子供」「心優しい子供」「礼儀正しい子供」の育成を目指し学校教育を推進します。また、市民が自ら進んで学び、その成果を様々な場面で活かすことができる環境づくりとともに、地域の文化や伝統を保存、活用する取組を推進します。

（１）魅力ある教育環境の創造

- 「心」を重視した教育
- 不登校、問題行動等に対する取組
- 特別な支援が必要な子どもたちを支援
- 特色ある学校・園づくり
- 人口減少地域の教育の充実
- 学校・家庭・地域の連携の推進
- 安全・安心で快適な学校・園の整備

（２）生涯学び、スポーツのできる環境の実現

- 生涯スポーツの推進
- 全国屈指のマラソン大会
- 文化芸術を身近に
- 生涯学び



（３）伝統文化を次世代へ

- 作山古墳等貴重な文化財の保存、活用
- 伝統文化の保存・活用・継承



基本計画の概要

基本目標4 集う人にやさしいまちを創る

地域でできることは地域で決めて地域で実現します。また、周辺都市や学校・民間企業が持つ人的・知的・物的資源を相互に活かし連携することで、生活の利便性の向上や、多分野にわたる協力関係を構築します。さらに、「日本一やさしい市役所」を目指して、信頼される公正で透明な行政運営や的確なサービスを提供できる行政を実現します。

(1) やさしい社会の実現

- 地域課題を解決し、独自性ある地域を創る
- みんなで考え取り組む
- ボランティア活動の推進

(2) 地域共創社会の実現

- 大学との連携
- 地元民間企業との連携
- 広域で連携する

(3) 日本一やさしい市役所の実現

- ワンストップ化の実現
- 市役所のDXの推進
- 財政健全化
- ファシリティマネジメントの実施
- 職員の育成



基本計画の概要

基本目標5 みんながワクワクするまちを創る

地域資源を活かしながら、地域経済の発展につながる総社市ならではの観光振興に取り組めます。

また、民間と連携した二次交通の充実を図るほか、関係・交流人口の拡大を目指した交流の促進を図ります。

(1) 地域資源のブランディング

- 「そうじゃ吉備路マラソン」で全国へPR
- 観光資源の掘り起こしや磨き上げによる魅力づくり
- 観光を軸とした活力ある地域づくりの推進
- 地域経済の発展につながる観光振興への取組
- 民間と連携した二次交通の整備
- 吉備路エリアなどの広域観光などによる交流人口の拡大



(2) 総社の魅力を発信

- 関係人口の創出・拡大
- 総社の魅力を伝える

